

つなげる力を、明日のために。トークネットのコミュニケーションマガジン「ジョイント」

Joint

vol. 28
2019 Sep.



気仙沼大島大橋
(宮城県)

未来への挑戦 [特集インタビュー]

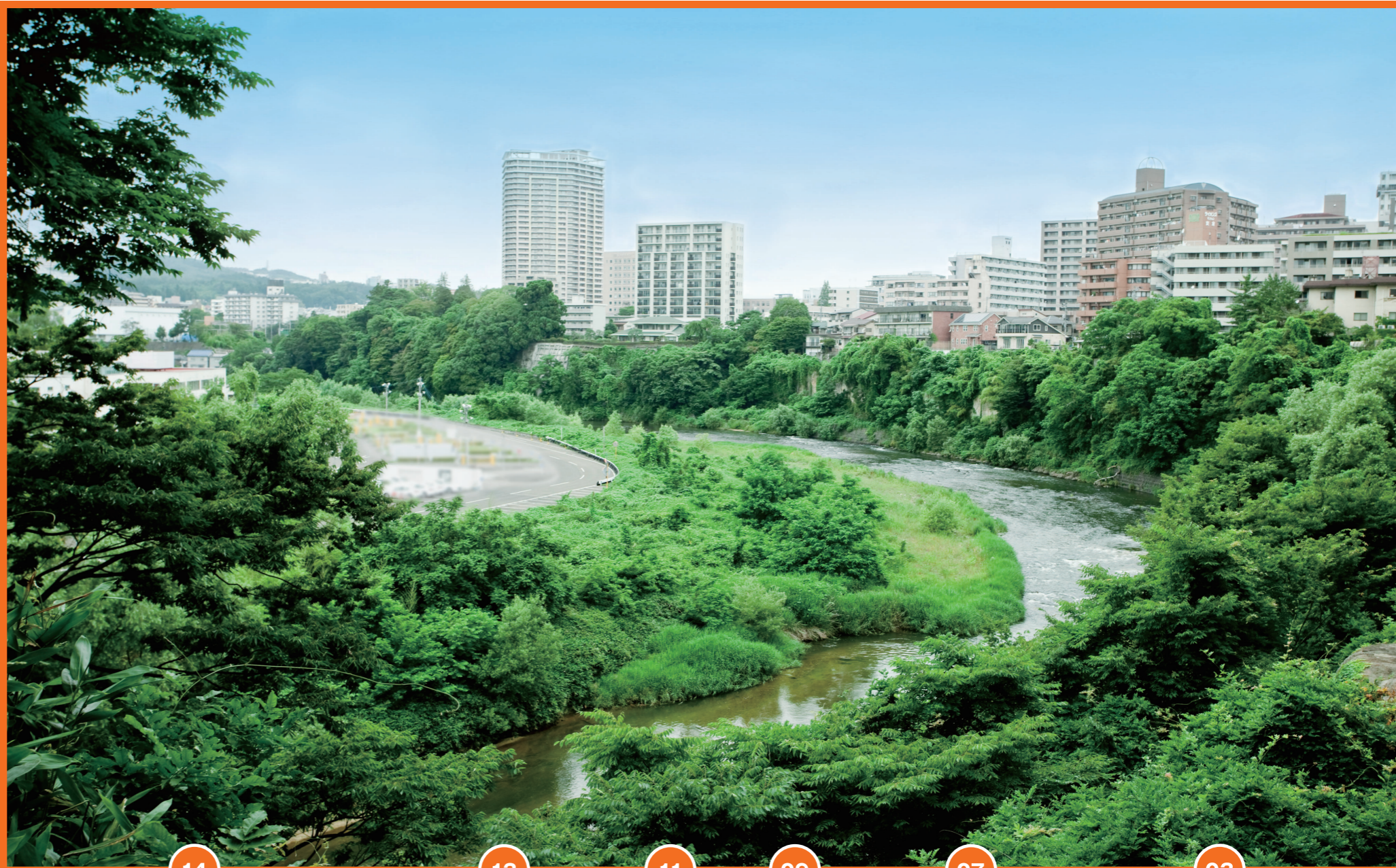
「スマート・エイジングを未来へつなぐ」

東北大学 加齢医学研究所 所長 川島隆太氏

技をつなぐ 堤焼乾馬窯様

導入事例 [新たな価値をつくるビジネス] 秋田市教育委員会様

地域ナビ [山形編]



(右)仙台市を代表する「広瀬川」の風景。
(左)多くの方々に愛用されている「堤焼」。

Joint

CONTENTS vol.28 2019 Sep.

[表紙のイラスト]

今年4月に開通した、気仙沼大島と本土をつなぐ「気仙沼大島大橋」は、全国でも珍しい大型のアーチ橋。片側1車線の道路で、歩道もあり徒歩で渡ることが可能です。橋が架けられたのは、「大島瀬戸」と呼ばれる風光明媚な場所、橋上から絶景を楽しむことができます。

「Joint」バックナンバーはHPでご覧いただけます。
<https://www.tohknet.co.jp/joint/>



14

読者プレゼント
自治体主催の「コトフェア」に出展
お客さま紹介
ナリタ工業様
(新潟県三条市)

13

地域の旬情報 Joint's TOPICS
「横手市増田まんが美術館」が
リニューアルオープン!

11

導入事例「新たな価値をつくるビジネス」
秋田市の教育情報ネットワークシステムを
支える通信回線
秋田市教育委員会様

09

地域ナビ
知りたい、伝えたい! 地元の魅力
山形編

07

技をつなぐ
暮らしによりそう「用の美」
土を活かし技法を継承
堤焼乾馬窯様

03

未来への挑戦「特集インタビュー」
「スマート・エイジングを」
未来へつなぐ」
「スマート・エイジング」で人生豊かに
認知症ゼロ社会をめざし「脳を鍛える」
東北大学加齢医学研究所 所長 川島隆太氏



「スマート・エイジング」で人生豊かに 認知症ゼロ社会をめざし「脳を鍛える」

脳機能イメージング分野のパイオニアで、脳機能研究開発の第一人者。川島隆太先生の研究成果は、「脳を鍛える大人のドリル」シリーズや認知症高齢者への「学習療法」により、広く社会に還元されています。きたるべき健康長寿社会に向け、科学者として提唱する「スマート・エイジング」の考え方について伺いました。

「スマート・エイジングを 未来へつなぐ」

東北大学 加齢医学研究所 所長 川島 隆太氏

(かわしま りゅうた)

[プロフィール]

1959年千葉県生まれ。1989年東北大学大学院医学系研究科修了。2009年加齢医学研究所スマート・エイジング国際共同研究センターセンター長、2014年より加齢医学研究所所長として務めるとともに、2016年よりスマート・エイジング学際重点研究センター長を歴任。2017年東北大学と日立ハイテクノロジーズによる脳科学カンパニー「株式会社NeU(ニュー)」CTOに就任。

東北大学加齢医学研究所
仙台市青葉区星陵町 4-1
TEL.022-717-7988

http://www.idac.tohoku.ac.jp/site_ja/



2011年に完成した東北大学加齢医学研究所スマート・エイジング棟。

健康に年を重ねる スマート・エイジング

「個人は、たとえ高齢期になっても人間として成長し、より賢くなれる。そして社会は、より賢明で持続的な構造に進化する」ことが必要であると考えています。こうした考えを「スマート・エイジング」と呼んでいます」と川島隆太先生は、東北大学加齢医学研究所が2006年から提唱している「スマート・エイジング」について話します。

「日本は少子化の問題も抱えています。加齢を前向きに受け止める社会にするには、やはり健康でいることが大前提になります。健康長寿社会は人生100年時代と言われていますが、科学者の予想では、令和20年には120歳まで寿命が延びるという予測もされています」

スマート・エイジングを達成するための定義として、「脳を使う習慣」「体を動かす習慣」「バランスの取れた栄養」「社会と関わっている習慣」の4つの条件をあげています。

「心身の健康を維持する方法は分かっていますが、脳についても健康に保つことや、脳の機能を上げるための技術

的な方策が分かってきました。また、心や精神面も脳活動でするので、脳が健康でポジティブな思考になり「やる気」が起きることは、データから明らかになっています」

脳科学の研究のため 国内外へ

川島先生は、中学時代の失態がきっかけで脳に興味を持ったといいます。

「自分の頭の中にある考えや思いと、他人のそれは違うのだと実感しました。自分とは何かなぜ地球に生まれたのかを考えるようになりました。自然科学系の研究は、すべて「人とは何か」を知るためにあります。ふられた経験は、心の動きと脳の動きの関係に関心を抱かせ、研究のモチベーションとなっています」

脳の研究をするため医学部を志した川島先生は、東北大学を受験しました。

「当時『青葉城恋歌』が流行っていて、広瀬川流れる岸辺」に行ってみたかと思っただけです。受験のために初めて仙台を訪れた時は、自然は豊かだけれど寒く寂しい街だと感じました。それから40年近く暮らしていますが、街の中心から少し離れると自然

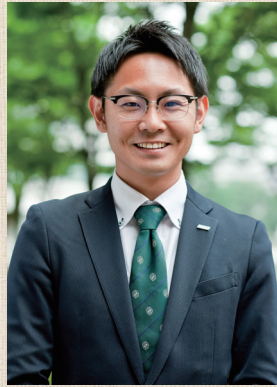


③定例ミーティングや発表会などに利用されるセミナー室。
④スマート・エイジング棟1階の開放的なロビー。

①6階は産学連携スペース。公文教育研究会が運営する、高齢者の学習療法教室「脳いきいき学部」があります。
②女性専用のフィットネス教室「カブス」と共同研究を行っています。

加齢を前向きに受け止める社会にするには、健康でいることが大前提になります。

インタビューから考える
つなぐ思い



TOHknet 営業部 天沼 和貴

社会に役立つ、人を幸せにする
研究に感銘を受けました

「ITは手段であって、それを使うために時間をかけるようになってはいけない」という川島先生のお話は、非常に考えさせられました。当社は、情報化社会を推進するためのサービス提供を行っている会社ではありますが、目的は情報を活用して快適な生活をお届けすることだと再認識しました。

また、今回のインタビューに際して、20年以上前、川島先生が講師をされていた時に、岩手県滝沢村（現滝沢市）にある日本アイソトープ協会の研究施設でテレビ会議を開くため、当社の通信回線を提供させていただいたことがあり、当社が回線提供を通して情報発信のお役に立てて光栄に感じました。

現在、ITによって社会は便利になりましたが、お客さまに心から喜んでいただけるソリューションを提案していきたいと思えます。



⑧川島隆太先生の「脳を鍛える」シリーズ近著と、スマート・エイジングに関する著書。

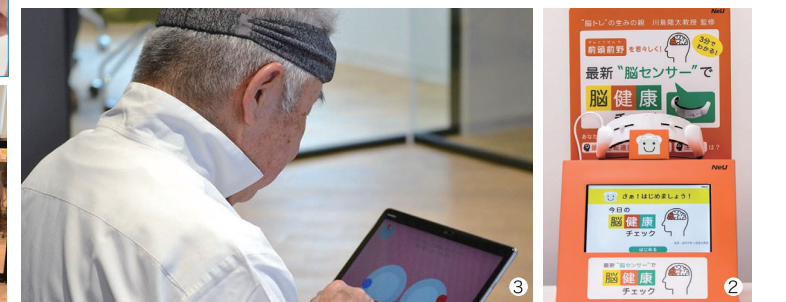
川島先生監修の「脳のはなしメール講座」を無料でお届け。登録はこちら



⑦川島先生プロデュースの脳を計りながらトレーニングする最新「脳トレ」Active Brain CLUB」(https://www.active-brain-club.com/)



④家庭できる最新「脳トレ」。⑤超小型脳活動センサー。
⑥企業での働き方改革支援。



①施設や企業での脳トレ。②ドラッグストアなどで脳活動チェック。③シニアの脳トレ。
※株式会社NeU(ニュー)は脳科学カンパニーとして、人々のクオリティ・オブ・ライフの実現を目指しています。

読み書き計算ドリルの目的は、頭の回転速度を上げ、記憶容量を増やすこと。

「論文の内容は、人が考えているときの脳の働きをポジトロンCTを使って測定することができたという、私が望んでいた研究です。すぐに博士に手紙を書いて、大学院修了後、1991年に客員研究員として迎えてもらいました。スウェーデンは自然豊かで、素朴な暮らしだったため、研究に没頭するには非常に理想的な環境でした」
2年後に帰国した川島先生は、脳研究のノウハウを、さまざまな研究に生かしています。

「大人の脳トレ」で研究成果を社会に還元
「研究の成果を社会に還元し、活用してもらうことは国立大学の義務だと私は思っています。まずは、子どもの教育に役立つことをしたいと考えたのです。健康な子どもを対象とした研究は倫理上認められず、実現できませんでした」と川島先生は振り返ります。
そこで、研究の対象を認知症の高齢者に変更しました。
「子どもの教育に有益と考えられることを、認知症の人を対象に行うため、高齢者施設にご協力いただきました。『読み書き計算』の学習をしてもらい、学習を通して高齢者と施設スタッフがコミュニケーションをとる研究です。成果は目覚ましいもので、それまで薬で効果の出なかった人も、1日5分程度、簡単な音読・計算を繰り返すことで脳の前頭前野を活性化させ、脳の健康を維持・向上できた例が続出しました」と、川島先生は話します。

「読み書き計算ドリルの目的は、頭の回転速度を上げ、記憶容量を増やすことにあります。トレーニングすることで記憶容量が増え、知的能力だけでなく運動能力も高まるのです。認知機能を上げた後、維持するためには脳のトレーニングを継続することが大切です」と川島先生。
次世代脳トレの脳科学カンパニー
「どうすれば脳を活性化できるか、ストレスを軽減できるか、雑念を払って集中できるか、という最善の対処法を自分自身で見つけ出すことが大事です。たとえば、デスク周りを整理整頓してから仕事に取りかかったら脳がすぐよく働いたという発見があれば、それを習慣化すればいいわけです。逆に、これまでは音楽を聴きながら仕事や勉強をしていたけど、実は聴か

ないときの方が集中度が高いということが分ければ、その習慣を止めればよい。また、最近のリモートワークを導入する企業も増えていて、カフェで仕事をすると集中できるという人もいますが、本当に集中できているのかというのは脳の活動を見てもないと分かりません。脳はとても正直なのです」
川島先生は、2017年8月に東北大学加齢医学研究所川島研究室の「認知脳科学知見」と、日立ハイテクノロジーズの「携帯型脳計測技術」を融合した、脳科学カンパニー「株式会社NeU(ニュー)」のCTOにも就任しました。高齢化における健康寿命の維持・伸長・メンタルヘルスの維持など脳活動を可視化することで「人」によりそっ

た新しいソリューション創生を推進しています。
日常生活の中の脳活動を簡単にモニターできるようにするため、産学連携で近赤外光を利用した脳血流計測装置の超小型化に取り組まれました。
「東北大学発のベンチャーです。脳科学の知見と技術を軸に、脳の日々のトレーニングを目的として開発された小型軽量の脳活動センサーで脳の活動を計測して、各自に最適な脳のトレーニングメニューの提供や、健康経営の支援、モノづくりやサービス開発の支援、脳血流量変化を計測する研究用機器の開発などに役立てています」
川島先生が新たに挑戦するのは、次世代脳トレ「Active Brain CLUB」です。

脳活動を計りながら鍛える最新脳トレサービスが、認知機能の維持・向上に注目されています。
「認知機能は加齢に伴い低下します。健全な認知機能を維持することは、生涯現役を支え人生100年時代を生き、認知症を予防するために必須です。また、働く世代は認知機能を鍛えることで判断力、集中力、生産性を上げ、仕事のパフォーマンスが上がり、学生は学習効率のアップにつながります。脳活動を計りながらトレーニングすることで、より効果的に認知機能を鍛えることができます」
川島先生の新たな産学連携の取組みが、スマート・エイジングを未来につなげます。

特集

特集



成形前の土練り作業



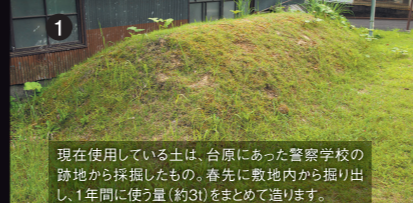
沈殿した土を乾燥



水を加えて混ぜ、木の根や石などを除去



掘り出した土。鉄分を含みコンの強さが特徴



現在使用している土は、台原にあった警察学校の跡地から採掘したもの。春先に敷地内から掘り出し、1年間に使う量(約3t)をまとめて造ります。



素焼きすることで型崩れを防ぎ、釉薬の定着も良くなります。温度は約800℃



小さなものは1週間ほど乾燥



高台を削り出した器



切り離した後、数日乾燥



ロクロを使い成形

※釉薬…「うわぐすり」ともい、器の表面を覆うガラス質の膜のこと。器の素地に水や汚れが染み込むのを防ぎ、丈夫で扱いやすくとともに、さまざまな色や質感などを表現します。原料は、長石などの鉱物や植物を焼いた灰をベースに、鉄や銅など色を着色するための金属類などを加えます。原料の組み合わせや割合により、釉薬の種類は無限に広がり、窯で焼かれると変化して、美しい表情を醸し出します。また、同じ釉薬でも焼き方や器を置いた位置などにより、色合いや質感などが変化するため、同じものは一つもありません。



海鼠釉の上掛け(白色)



海鼠釉の下掛け(黒色)



焼き上がった器



ガス窯に入れ、1250℃前後までゆっくり温度を上げて焼成(本焼き)



高台を砥石で削り滑らかにして完成



左から針生峻さん、針生乾馬さん、針生和馬さん



堤焼乾馬窯

〒981-3121 宮城県仙台市泉区上谷刈字赤坂8-4
TEL.022-372-3639 FAX.022-372-5829
http://tsutsumiyaki.net



作品展示場(小売販売もしています)

体験教室

- 所要時間 / 平均2時間程度
 - 料金 / 大人(1kg)3,000円、子ども(500g)1,500円(作品発送の場合、送料別途)
 - 人数 / 4~36名(3名以下は要相談)
 - お渡し / 約2カ月後(雨季は長め)
- ※事前にご予約ください。
※冬季期間中(12月~2月)は休ませていただきます。

たちが副業として焼き物を作ったのが始まりでした。四代藩主・綱村が江戸の陶工・上村万右衛門を招いて指導を受け、藩主の茶器などを作る御用窯となりました。窯場が堤町一帯(仙台市青葉区)にあったことから、堤焼といわれるようになり、その後、甕や鉢、皿など生活雑器を幅広く生産するようになりました。

乾馬窯は、仙台に招かれた幕末の陶工三浦乾也(六代・尾形乾山)に師事した初代が、乾馬の陶号を授かったことに始まります。この時、書き写すことを許された秘伝書「乾山秘書」を基に、伝統の製法を受け継ぎながら、地元の土と釉薬※にこだわった陶器を生み出しました。以来一貫して、仙台の風土に根ざした作陶を続けており、昭和初期には民藝運動の柳宗悦が水甕などを高く評価したことも知られています。

現在は、五代目の針生乾馬(本名・嘉久)さんと弟の和馬(本名・嘉和)さん、甥の峻さんの3人で窯を守っています。

唯一の窯元として
技を極め次代につなぐ

乾馬窯では、四代目の時から一般の人たちが陶芸を習うようになり、現在も近隣の小学校やサークル活動などから体験教室の予約が入ります。「最近では、外国人観光客からの問合せも増えており、日本の伝統

掘り出した土に水を混ぜ、ミキサーで攪拌して網で濾し、不純物を取り除いた後、水槽に貯めて数カ月間沈殿させ、上水を除いて土を取り出します。その後、数日乾燥させてから土練機に通し、室に移して1年以上寝かせて、ようやく使える状態になります。次に、土を練って固さを均一にし、空気を抜いて土をしめまします。食器など小さい器は、主に電動ロクロで成形し、糸で切り離し、2~3日乾燥させます。5分乾き程度で高台を削り出し、その後1週間ほど乾燥させ、素焼きします。釉薬をかけて数日乾燥し、高温で焼き、窯から出して時間をかけて冷まし、高台部分を砥石で削りガタつきを調整して完成です。

地元の土と釉薬を使い
一つ一つ丹念に作陶

堤焼の代名詞とされるのが、黒と白のコントラストが美しく、ナマコに例えられる模様(海鼠釉)です。釉薬の材料となる岩石や粉殻も地元産で、土も台原(仙台市青葉区)の粘土層から採取したものを使用します。土造りは最も時間がかかる作業

工芸の体験は人気があるようです」と乾馬さん。「今後も、幅広い年齢層や海外の方々にも積極的に堤焼を紹介していきたい」と話します。営業・販売も担当する和馬さんは、「地元の百貨店や土産物店からの注文は、最近、マグカップが人気で、焼き上がり待っていたに、笑顔で喜んでいただけるので嬉しいです」。堤焼は、他にも碗、湯飲み、皿、花器など日常生活の中で、多くの方々に愛用されています。

2013年には、四代目の孫で乾馬さんと和馬さんの甥にあたる峻さんが一員に加わりました。「一般企業に就職しましたが、東日本大震災を機に、本当に自分がやりたいことをしようと決心し、陶器作りを始めました」と峻さん。作陶には正解がないといい、釉薬の研究をはじめ、自分なりの堤焼を模索しています。「受け継がれた技術・技法を守りつつ、自分なりのオリジナルの器を作り、職人としての幅を広げていきたい」と抱負を話します。伝統の窯の火は、次代を明るく照らしています。



明治3年、横浜馬車道の写真館で撮影した写真。右が初代乾馬で中央が師の三浦乾也氏。

技をつなぐ

暮らしに よりそう「用の美」 土を活かし 技法を継承

堤焼 堤焼乾馬窯(つみやきけんばがま) 宮城県仙台市

五代目作の器。海鼠釉のほか、手前左端の粉引(こびき)、その隣の緑釉(りよくゆう)など、釉薬による色合いも多彩です。



峻さん作の板皿。堤焼には珍しい青い結晶釉を使い、新たな作風にチャレンジしています。伝統を守りつつ、現代の感性を取り入れた器を生み出そうと意欲的です。



紅葉シーズンにおすすめのドライブ観光をご紹介します！



TOHKnet 山形支社
蒲生 峻之

宮城県出身、2019年7月から山形支社勤務。
山形市内のほか、最上エリアを担当。

鮭川村の小杉地区には、「小杉の大杉」という愛称で親しまれている根回り6・3メートル、樹高20メートル、枝張り17メートルの巨杉があります。この木は、映画「となりのトトロ」のトトロに形が似ていることから「トトロの木」としても知られています。

また、周辺には鯉が泳ぐ「大堰」が流れており、その脇には休憩所が備えられた「大堰公園」があります。

金山町役場の周辺は白壁にこげ茶や黒色の切妻屋根、金山杉の下見板張りが特徴の「金山住宅」が建ち並び、風情ある町並み特徴です。江戸時代の商家が所有していた蔵を活用した「金山町街角交流施設マルコの蔵」は工芸品の販売コーナーやギャラリー、カフェなどが充実。町歩きの中でほっと一息つけるスポットです。

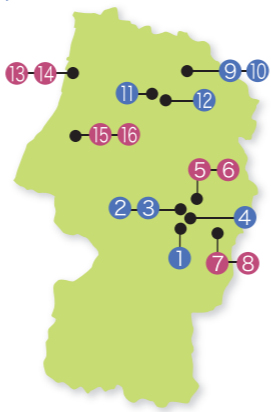
鮭川村屈指のレジャー施設「鮭川村エコパーク」は、総面積30ヘクタールの雑木林を生かした滞在型の森林公園です。オートキャンプ場や冷暖房



完備のコテージ、回転滑り台やブランコで遊べるキッズアスレチックなどがあり、子どもから大人まで楽しめます。

地元のコトは地元の人に聞くのがイチバン！
東北・新潟&東京の魅力を社員の目線でお届けします。
今回ナビゲートするのは
山形支社の若山侑士と蒲生峻之。
おすすめの地元ネタとは？

最上エリア
(金山町・鮭川村)の町並みや自然をめぐる



- 落ち着いた雰囲気「切妻屋根と白壁の町並み」。
 - 金山町中心部にある「金山町街角交流施設マルコの蔵」。
 - 樹齢1000年といわれる「小杉の大杉」。
 - 「鮭川村エコパーク」の「栗の木オートキャンプ場」。
- 「金山町産業課」 TEL.0233-52-2111
https://www.town.kaneyama.yamagata.jp/
「金山町街角交流施設マルコの蔵」 TEL.0233-32-1212
最上郡金山町大字金山 363-2
5月～10月/9:00～19:00 11月～4月/9:00～18:30
※年末年始休業
- 「鮭川村むらづくり推進課」 TEL.0233-55-2111
http://www.vill.sakegawa.yamagata.jp/kanko/
「鮭川村エコパーク」 TEL.0233-55-4455
最上郡鮭川村木の子の森
8:30～17:30
※火曜定休(ゴールデンウィーク、7月第4月曜～8月最終月曜は無休)

vol.28 山形編

「地域ナビ」
知りたい、伝えたい！
地元の魅力

河北町では「冷たい肉そば」が有名です。鶏ダシが効いた醤油スープ、コシの強い麺を使った冷たい汁そばで、具材は鶏肉(親鶏)のチャーシューと小口切りのネギのみとシンプル。寒河江市でも肉そばを提供する店が多くあり「そば処ひふみ」の冷たい肉そばは、やや甘めであったりした味わいのスープが、食べ応えのある太麺によく合います。

TOHKnet 山形支社
若山 侑士

青森県出身。2017年から山形支社勤務。
技術グループに所属し、山形県全域を担当。



村山エリア(河北町・寒河江市)の名物や温泉を楽しむ

また、寒河江市には源泉掛け流しの3つの泉質の温泉を楽しめる日帰り入浴施設「寒河江花咲か温泉ゆ〜チェリー」があります。ドライブの途中

です。また、寒河江市には源泉掛け流しの3つの泉質の温泉を楽しめる日帰り入浴施設「寒河江花咲か温泉ゆ〜チェリー」があります。ドライブの途中

で気軽にリフレッシュできるスポットです。秋は、露天風呂から蔵王連峰や最上川の紅葉を眺めることができます。



- 「そば処ひふみ」の「冷たい肉そば」。
 - 「さくらんぼ会館」の「JA手作りアイス」。
 - 道の駅寒河江にある「チェリーランドさかえ」の外観。
 - 「寒河江花咲か温泉ゆ〜チェリー」の大浴場。
- 「そば処ひふみ」 TEL.0237-84-5444
寒河江市本橋 3-2-1
平日 11:00～15:00、17:00～19:00
土日祝 11:00～19:00(スープ・材料がなくなり次第終了)
※月曜定休(月曜が祝日の場合、水曜休み)
- 「さくらんぼ会館(チェリーランド内)」
TEL.0237-86-1811
寒河江市大字八楳字川原 919-6
9:00～18:00(11月～3月は17:00まで)
※12月31日～1月1日休館
- 「寒河江花咲か温泉ゆ〜チェリー」TEL.0237-83-1414
寒河江市大字寒河江字久保 15
6:00～22:00
※毎月第1月曜定休(祝日の場合は翌日)

こちらもおすすめ ★全国に誇る庄内地方のグルメスポット

酒田市には手作りの極薄ワンタンで知られる創業60周年を迎えた「ワンタンメンの満月本店」があります。店の看板メニューは醤油味の「ワンタンメン」。とろける食感のワンタン、滑らかな口当たりの自家製シルク麺、数種類の煮干しや鶏ガラなどを使ったあっさりとしたスープが見事に調和した一杯です。ゴマラー油を使ったピリ辛味の「スタミナワンタンメン」や、女性に人気の「塩ワンタンメン」などバリエー

ションも豊富です。鶴岡市にある「アル・ケッチャーノ」は山形を代表するイタリアンレストラン。鶴岡市出身の有名イタリアンシェフ奥田政行氏の料理を求め、全国から多くのファンが訪れます。同店では庄内地方の食材にこだわり、できるだけソースを使わず、シンプルな味付けで、素材のおいしさにこだわったコース料理を中心に提供しています。



● 満月本店の内観。
● 満月本店の「ワンタンメン」。
● 「アル・ケッチャーノ」の外観。
● 「アル・ケッチャーノ」のコース料理。

こちらもおすすめ ★山形の動物ふれあい&紅葉スポット

河北町役場の隣にある「河北町児童動物園」は、入場無料の山形県唯一の動物園です。同園は 365 日、24 時間開園しており、クマ、サル、ヒツジ、フクロウなど 30 種類以上の動物を見学できます。9 月～10 月の毎週日曜日 13:30～14:30 の間は、ウサギやヒヨコなどの動物に触ったり、餌をあげられる「ふれあい体験」を行っており、家族連れを中心に多くの人で賑わいます。

山の中にお堂が点在している「山寺」は、山形市の紅葉の名所として知られています。例年見頃を迎える 10 月下旬～11 月上旬には、境内のカエデやイチョウなどが鮮やかに色付き、山全体が錦色に染まります。この時期に合わせて行われる「五大堂」と「開山堂」の夜のライトアップ(10 月 27 日～11 月 10 日)も見どころの一つです。山麓には食事処も多くあるので、そばや玉こんにゃくなど郷土料理も楽しめます。



● 多くの人で賑わう「河北町児童動物園」。
● 園内の動物。
● 紅葉が美しい山寺。
● ライトアップされた山寺のお堂。

秋田市の教育情報ネットワークシステムを支える通信回線



① エンボラシスの展示コーナー。 ② 吹抜けのエントランス。中央のテーブルは囲炉裏をイメージ。 ③ 秋田市役所外観。 ④ 「山王一丁目食堂」と続きの2階テラス。(食堂は11時～14時の利用)。 ⑤ 庁舎1階の観光PRコーナー。

提案のPOINT

「V-LAN」「TOCN」の
高い信頼性とセキュリティ

24時間365日の保守体制

学術分野での豊富な実績と
迅速なレスポンス

* 組織概要

教育を語ることは「未来」そして「希望」を語ること

秋田市教育委員会は2017年度、5カ年計画の「第3次秋田市教育ビジョン」を策定しました。今回の策定にあたっては、これからの時代に教育が果たすべき役割、秋田市教育が目指す姿と、その方向性について改めて見つめ直しました。

秋田市は、「自立と共生の力をはぐむ教育」を学校教育部門の基本方針と位置付け、各種施策の推進と充実を努めてきましたが、第3次教育ビジョンでは、「自立と共生」をキーワードとして継承。学校教育、社会教育を貫く秋田市教育全体の目指す姿として【郷土あきたの明日を拓く「自立と共生」の人づくり】を掲げました。

秋田市教育委員会

秋田県秋田市山王1-1-1
TEL.018-888-5806



学事課 主査 小沼 一彦様 (おぬま かずひこ)
学事課 課長 阿部 雅紀様 (あべ まさのり)

高品質・高い信頼性の通信回線で ストレスのないシステム環境を実現

災害を見据えたネットワーク
環境でデータを管理

秋田市教育委員会様は1998年、全国に先駆けて「はばたけ秋田っ子ネット」という教育情報ネットワークシステムを導入しました。2014年度から外部のデータセンターを利用して、秋田市職員と教職員向けの校務支援システムを活用。市職員と教職員間、小中学校の児童・生徒にはインターネット環境を提供しています。「データセンター方式にしたの

は、2011年の東日本大震災と翌2012年に秋田で発生した大規模な突風がきっかけです。災害に強いデータセンターにデータを集約し、学校や子どもたちの大切な個人情報などを管理することになったのです」と、秋田市教育委員会学事課課長の阿部雅紀さんと、主査の小沼一彦さん。

「V-LAN」「TOCN」 通信回線を増強

今回、2014年の教育情報ネットワークシステム導入から5年経過し、更新の時期を迎えました。「当初、ネットワーク回線は教育情報ネットワークシステムの一部として一括で公募する予定でしたが、トークネットの営業担当から繰り返しネットワーク回線の提案を受けるうちに、ネットワーク回線を個別に公募する方針に変更することとしました。トークネットのネットワーク回線は、官公庁・自治体への提供実績もあり、高い信頼性と安全性をもって運営・管理されていると聞いていました。また、文部科学省の『教育情報セキュリティポリシーガイドライン』に基づいた回線切替への対応が必要だったので、適確なアドバイスやサポート体制も重要なポイントでした」と小沼さん。

現在は「校務システム」で生徒や教員などの個人情報や、成績・教科・ホームページなどの運営・管理「授業支援システム」で教材情報の共有、タブレットで遠隔地とのライブ授業実現など、さまざまな場面で活用されています。「授業中に動画などネットワーク上で稼働するアプリケーション利用の増加などに伴い、トラフィックが増大する中で、ストレスのない環境を整備することが大前提だったため、従来のベストエフォート型からギャランティ型・帯域保証型または帯域確保型の広域イーサネットサービスを採用することにしました」と小沼さんは話します。

この要件を受け、当社は信頼性・セキュリティ面・速度において品質の高いネットワークを提供できる、高速イーサネット網サービス「V-LAN」と、インターネットサービス「TOCN」をあわせた提案を行いました。

秋田市教育委員会様は、「サービス導入後は、トラブルもなく快適に利用しており、月々の通信コストも抑えることができました。さらなる増強が必要になると思いますが、今後のニーズに対応した提案やサポートに期待したい」と話しています。

実績と万全のサポート体制で信頼にお応えします

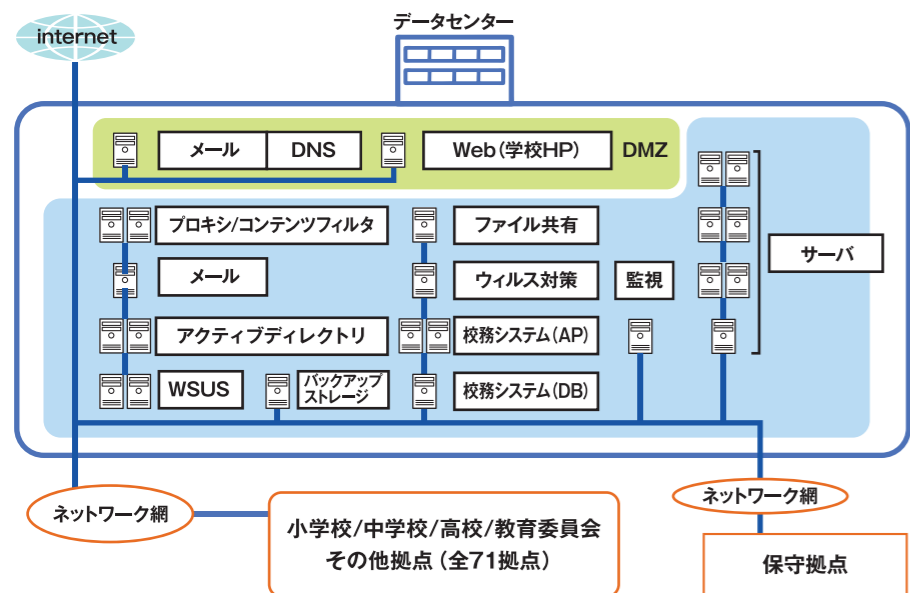
今回、秋田市教育委員会様は、システムとネットワーク回線を個別に契約することを決定されました。教育委員会様、秋田市教育情報ネットワークシステムの更改業務担当会社、ネットワーク回線更改を担当する当社の3者がそれぞれ作業を行いました。教育委員会様が中心になり、円滑に構築作業を進めることができました。サービス開始後は、問題なく快適にご利用いただけています。

2020年から、大学・学術系のネットワーク「SINET」(サイネット)が、準備段階において順次、初等・中等教育にも開放されるというお話も伺いました。当社には、大学や高専にSINET接続用の回線を提供している実績もありますので、今後も充実した教育情報ネットワーク構築のお役に立ちたいと考えています。

担当者/TOHKnet 秋田支社 中山 剛志



高速イーサネット網サービス「V-LAN」と、 インターネットサービス「TOCN」で増強



自治体主催のICTフェアに出展

いわてICTフェア2019

- 開催月日／6月7日(金)
- 会場／いわて県民情報交流センター(アイーナ)

実際に見て、さわって、体験できるよう、最新のICT技術や製品が展示されたほか、IoTの現状と課題をテーマにしたセミナーなどが開催されました。

当社は、TOHKnet ServeMallやeラーニング、VistaFinder Mxなどのサービスやお客さまの導入事例などを紹介しました。



当社展示ブース内でデモンストレーションの様子

秋田ICTフェア2019

- 開催月日／8月2日(金)・3日(土)
- 会場／秋田拠点センターアルヴェ

AIやIoT、ドローンなどの展示ブースやVRなど最新のICT体験コーナーを設け、企業・自治体が抱える課題解決の場を提供するとともに、理解促進を図ることを目的として開催されました。

当社は、標的型攻撃メール対応訓練サービスや遠隔作業支援システムなどのサービスを紹介しました。



当社展示ブース内で説明している様子

読者プレゼント

「JoinT」をお読みいただきましてありがとうございます。

vol.28は東北大学加齢医学研究所所長・川島隆太氏、宮城県の堤焼乾馬糞様などを特集しました。

今後も皆さまのご意見を参考に、よりよい誌面づくりを行ってまいりますので、ぜひアンケートにご協力ください。

アンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で下記の賞品をプレゼントいたします。

A **3名さま**

阿部蒲鉾店の
笹かまぼこ詰め合わせ

笹かまぼこ5枚、笹だより(えび、チーズ、シソ)各2枚、
チーズボール3個

B **3名さま**

堤焼乾馬糞の
海鼠釉マグカップ

※色合いなど写真とは多少異なる場合があります。

C **3名さま**

木村屋の
ふるさと庄内(和菓子詰め合わせ)

小豆餡に求肥餅を入れた「古鏡」6個、小豆餡に栗を入れた「栗」4個、栗を自家製パイで包んだ「マロン」3個

締め切り／2019年11月30日(土)

当選発表／厳正な抽選の上、賞品の発送をもって発表に代えさせていただきます。
※プレゼント賞品は内容が変更となる場合がございます。予めご了承ください。※応募に際していただきました個人情報につきましては、本誌プレゼントの運営および「JoinT」の編集に役立てる目的にのみ使用いたします。

応募方法

下記URLより「JoinT読者プレゼント」にアクセスして、アンケートにお答えの上、ご応募ください。

<https://www.tohknnet.co.jp/joint/>



編集後記

今回の特集で取り上げた宮城県では、昨年、新ブランド米「だて正夢」が本格的に販売されました。近年、山形県の「雪若丸」や新潟県の「新之助」など、次々と米の新品種がデビューしています。各地の美味しい新米を食べ比べ、豊穡の秋に感謝したいと思います。

20万点超の貴重な原画を間近に堪能

「横手市増田まんが美術館」がリニューアルオープン!

地域の旬情報
JoinT's TOPICS
地域のニュース&トピックスなどの
情報をお届けします。

原画が持つ迫力と美しさ
新たな発見や感動が満載

横手市増田まんが美術館は、漫画をテーマにした日本初の美術館として1995年に開館。「釣りキチ三平」の作者として知られる増田町出身の矢口高雄氏をはじめ、国内外の漫画家の原画を展示するなど、漫画文化を幅広く発信してきました。

2017年4月から施設の改修工事に着手。公共施設の一部だったスペースから、建物全体を「まんが美術館」として2019年5月にリニューアルオープンしました。

「常設展示室」では、常時74名の漫画家・約200点の原画があり、収蔵している179名の作品を随時入れ替えて展示しています。「マンガの蔵」内には、原画をデジタルデータとして保存する作業を見学できる「アーカイブルーム」などがあります。このほか、約2万5000冊の漫画を読める「マンガライブラリー」に、心に残る言葉が並ぶ「名台詞ロード」など、見どころ盛りだくさんです。

原画の保存と活用を図る「マンガの蔵」(上)。原画を多彩な方法で鑑賞します。「マンガライブラリー」(下)には単行本や雑誌がぎっしり。館内で自由にご覧いただけます。



- 【利用案内】
- 開館時間／10:00～18:00(入館は17:30まで)
 - 休館日／毎月第3火曜日(祝日の場合は翌日)
 - 入館料／常設展は無料
 - 特別企画展観覧料
未就学児は無料、小学生200円、中学生400円、高校生600円、大人800円

■お問合わせ

鋼の錬金術師展～9月29日(日)

オノ・ナツメ展

9月28日(土)～12月22日(日)

横手市増田まんが美術館

〒019-0701 秋田県横手市増田町増田字新町285番地

TEL.0182-45-5569

<https://manga-museum.com>

「常設展示室」にはシンボルツリーが立ち、2階へと続くスロープに原画が展示されています。

TOHKnetのサービスをご利用いただいている
ユーザー企業さまをご紹介します。

お客さま
紹介

ローコスト・ハイクオリティをモットーに信頼できる商品とサービスを提供

ナリタ工業様



高圧ケーブル接続端子



鍛造(たんそう)部品と銅製品



抜群の切れ味を誇る包丁

<http://www.wazamono.com/>

ナリタ工業は、1954年3月に成田乾一商店として、三条市で自動車・二輪車用搭載工具の卸業を創業開始し、1987年5月に現在の社名に変更および改組しました。事業は搭載工具事業部、特殊工具事業部、I S P事業部の3部門からなります。中でも、特殊工具事業部では、主にCNC旋盤、MCマシニングセンタなどを使用し、鉄や銅の切削加工を行っています。工具や部品などの図面を基に、試作から量産まで迅速に対応。協力工場との連携により、多種多様な加工が可能で、お客さまのニーズに柔軟にお応えしています。近年、交通面や景観上の理由から、配電ケーブル(電線)の地下化が進んでおり、地下ケーブル用接続端子の注文が急増しています。こうしたニーズに対応すべく、より生産力を向上させるため、MCマシニングセンタの設備増強を目指しています。今後とも、低コストで高品質なもののづくりを通じて、電線地下ケーブルの推進や地域環境の改善に貢献していきたいと考えています。また、2019年3月から三条市の伝統産業品「哲弘」の包丁販売を始め好評いただいています。

株式会社ナリタ工業 新潟県三条市西大崎1-1-23 TEL.0256-38-5050 <http://www.naritakogyo.co.jp/>

マンガでわかるIT事情

～BCP(事業継続計画)篇～

今や情報システムなしの企業経営は不可能で、情報システムを停止させない、重要データを保護するなど、事業継続計画(BCP)の策定が不可欠です。このBCP対策に有効な手段の一つがクラウドサービスです。



「ブラックジャックによろしく」佐藤秀峰

災害時でも事業を継続 BCPでリスク回避!!

TOHKnetのクラウドサービスは、BCP対策にも対応します。

トータルコストに強い独自のプライベートクラウド

災害発生時の安心

高セキュリティ

運用コスト低減



マンガ「トークネットによろしく」WEBで公開中!!

詳しくはこちらから!! https://www.tohknet.co.jp/special/tohk_jack/



トークネット
TOHKnet
つなげる力を、明日のために。

より、そう、ちから。
東北電力グループ
東北インテリジェント通信株式会社

【お問合せ】 TEL:022-799-4211 (受付時間/平日 9:00~17:00) e-mail: joint@tohknet.co.jp